

研究名

COVID-19 患者に対する未分画ヘパリンを用いた予防的抗凝固療法での APTT 延長の現状

1. 研究の対象

2020 年 4 月から 2021 年 9 月に、COVID-19 で当院に入院し未分画ヘパリンを投与した患者 332 名

2. 研究目的・方法

済生会横浜市南部病院(以下、当院)では軽症から中等症患者を中心に新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)患者を受け入れている。COVID-19 では、血栓・塞栓症のリスクが高いことが知られており、「新型コロナウイルス感染症診療の手引き」では「D-ダイマーが正常上限を超えるような場合には、ヘパリンなどによる抗凝固療法を実施することが推奨される」とされている。当院でも上記患者には、未分画ヘパリン 5,000 単位を 1 日 2 回皮下投与している。低用量未分画ヘパリン投与時には APTT による用量調節は不要とされているが、APTT の過延長や延長が要因の一つとされる上部消化管出血を起こした患者もいたため当院での APTT 測定有無と延長の現状を調査し考察する。

調査項目は、患者背景、APTT 測定の有無と投与前後での APTT 変動とし、電子カルテを用いて後方視的に調査を行い検定方法は Tukey 法を用いた。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ患者情報（後向き研究）

4. 外部への情報の提供

研究結果は論文等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報は個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 加藤 一郎

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 小林 奈緒